



2024 年度高知県立大学 がん高度実践看護師コース

がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師の養成

Extended & Permanent Stage にある がんサバイバーへの支援

募集要項

- 概 要** 本コースは、文部科学省令和 5 年度(がんプロフェッショナル)養成プランに採択された、中国・四国の大学による「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」の事業のなかで高知県立大学が企画するリカレント教育コースです。第 4 期において本学は、がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師の養成を目的としています。がんサバイバーシップケアとして再発や二次性発がんの予防、長期合併症や晩期障害の管理、健康増進に向けた生活習慣の改善、若年発がん患者の教育・就労・経済状況の社会的問題等、複合的かつ領域横断的な課題に対応する実践力を修得できるように 5 年間取り組みます。
2024 年度は、上記の目的のもと、“ Extended(延長された生存) & Permanent(長期的に安定した生存) Stage にあるがんサバイバーへの支援 ”をテーマに、がんの初期治療終了後も残存する機能障害や生活障害のあるがんサバイバーに対する専門的な知識と技術を学び、がんサバイバー・家族のニーズや潜在化した課題、アンメットニーズに対応することのできる専門性の高い看護実践力を修得します。
- 履修期間** 2024 年 9 月 7 日(土).8 日(日)、10 月 5 日(土).6 日(日)、
11 月 2 日(土).3 日(日)、12 月 14 日(土).15 日(日)
- 開催場所** 高知県立大学池キャンパスより Web 配信(Zoom)
- 対 象** 専門看護師、大学院修士課程修了者、がん看護に関連する認定看護師
- 履修科目** 4 単位 60 時間 (授業科目参照)
- 受講費用** 無料(但し、受講に要する電子機器、通信費等は自己負担とします)

7.授業科目

科目名	授業の概要
1. がんサバイバー 診断治療学 1 単位 15 時間	Extended & Permanent Stageにあるがんサバイバーの生活を支えるために、初期治療後も残存する機能障害や生活障害について、医学的・解剖学的視点から理解することにより、患者のアセスメント能力を獲得することを目指す。また、残存する機能障害や生活障害に対する対応方法について理解を深め、看護実践について考察する。 〈達成目標〉 ① がん治療が身体に対して長期的に影響を及ぼす医学的な問題について説明できる ② がんの初期治療終了後も残存する障害と、その対応方法について説明できる ③ 二次性発がんについて説明できる
2. がんサバイバー 看護基盤論 1 単位 15 時間	Extended & Permanent Stageにあるがんサバイバーの機能障害や生活障害についての知識を踏まえ、身体的・心理的・社会的な課題を理解するとともに、がん看護に活用できる概念や理論を理解し、がんサバイバーへの看護実践を検討する。 〈達成目標〉 ① がんサバイバーへの看護の基盤となる概念や理論、ならびにその活用方法について理解することができる ② 初期治療終了後も生活や人生に困難を抱えるがんサバイバーの身体的・心理的・社会的な課題を理解することができる
3. がんサバイバー 看護実践論 1 単位 15 時間	Extended & Permanent Stageにあるがんサバイバーの機能障害や生活障害および病態の理解を踏まえ、がんサバイバーの生活の質の向上につながる看護実践を学修する。また、がんサバイバーを支える社会の様々な取り組みについて学修する。 〈達成目標〉 ① がんサバイバーの特徴を踏まえ、家族も含め包括的にアセスメントできる ② 身体的・心理的・社会的な特徴や課題を理解し、看護ケアを提案することができる ③ がんサバイバーに対する社会的な支援を理解し、質の高い看護を考案できる
4. がんサバイバー 看護展開論 1 単位 15 時間	科目 1～3 の学習を踏まえて、高度な看護実践を展開できる能力を獲得し、Extended & Permanent Stageにあるがんサバイバーに対する看護援助を考える。 〈達成目標〉 ① 初期治療終了後も生活や人生に困難を抱えるがんサバイバーに対する看護援助を考案できる ② 初期治療終了後も生活や人生に困難を抱えるがんサバイバーに対する多職種協働による支援を考案できる ③ がんサバイバーと家族の生活の質の向上を目指した看護について説明できる

8. 日程表

日程	時間	講義内容	講師
9月7日(土)	12:30-14:00	オリエンテーション 1. APN コースオリエンテーション 2. がんサバイバーシップ がんサバイバーとは、がんサバイバーシップとサバイバーシップケア	藤田佐和 (高知県立大学看護学部教授)
	14:10-15:40	<u>1. がんサバイバー診断治療学</u> ・治療終了後も長期的に残存する生活障害Ⅰ： 食道がんに焦点を当てて (病態生理・症状のメカニズム、予防・治療・対応策・課題)	山下公太郎 (大阪大学 消化器外科)
	15:50-17:20	・治療終了後も長期的に残存する生活障害Ⅱ： 大腸がんに焦点を当てて (病態生理・症状のメカニズム、予防・治療・対応策・課題)	小林成行 (前 四国がんセンター 消化器外科)
9月8日(日)	9:00-10:30	・治療終了後も長期的に残存する生活障害Ⅲ： 子宮がんに焦点を当てて (病態生理・症状のメカニズム、予防・治療・対応策・課題)	宇津木久仁子 (がん研究会有明病院 健診センター)
	10:40-12:10	・治療終了後も長期的に残存する生活障害Ⅳ： 乳がんに焦点を当てて (病態生理・症状のメカニズム、予防・治療・対応策・課題)	片岡明美 (がん研究会有明病院 乳腺センター)
	13:00-14:30	・二次性がんの疫学とがんの予防	佐竹 悠良 (高知大学医学部腫瘍内科学講座)
	14:40-16:10	・がんサバイバーに長期的な影響を及ぼす薬剤の基礎的知識(身体への影響と対応策・課題)	常風 興平 (高知大学医学部附属病院薬剤部 がん専門薬剤師)
10月5日(土)	13:00-14:30	<u>2. がんサバイバー看護基盤論</u> ・治療終了後も長期的に残存する障害をもつがんサバイバーへの看護実践に有用な概念や理論と活用Ⅰ： “セルフアドボカシーと看護ケア”	千崎美登子 (北里大学病院 がん看護専門看護師)
	14:40-16:10	“ヘルスリテラシーと看護ケア”	中村めぐみ (聖路加国際大学 PCC 開発・地域連携室 がん看護専門看護師)
	16:20-17:50	“ピアサポート・セルフヘルプグループと看護ケア”	梅田恵 (ファミリー・ホスピス株式会社 がん看護専門看護師)

10月6日(日)	9:00-10:30	・治療終了後も長期的に残存する障害をもつがんサバイバーへの看護実践に有用な概念や理論と活用Ⅱ: “家族理論(発達、役割)の理解とがん看護実践への活用”	長戸和子 (高知県立大学看護学部 教授)
	10:40-12:10	・がん治療によるがんサバイバーへの長期的な影響 -心理的・社会的な課題と支援- “がんサバイバーと家族の再発に対する不安や抑うつなど”	児玉美由紀 (北里大学病院 がん看護専門看護師)
	13:00-14:30	“がんサバイバーのセクシャリティや外見の変化など”	稲村直子 (国立がん研究センター中央病院 患者サポートセンター がん看護専門看護師)
	14:40-16:10	“がんサバイバーの就学・就労に関する制度や施策”	橋本久美子 (聖路加国際病院相談支援センター AYA サバイバーシップセンター)
11月2日(土)	13:00-14:30	<u>3.がんサバイバー看護実践論</u> ・治療終了後も長期的に残存する生活障害をもつがんサバイバーの全人的アセスメントと看護ケア “食道がんサバイバーに焦点をあてて”	河村奈緒 (静岡県立静岡がんセンター がん看護専門看護師)
	14:40-16:10	“子宮がんサバイバーに焦点を当てて”	千葉育子 (国立がん研究センター東病院 がん看護専門看護師)
	16:20-17:50	“乳がんサバイバーに焦点を当てて”	高山裕子 (地域医療機能推進機構 横浜中央病院 がん看護専門看護師)
11月3日(日)	9:00-10:30	・多職種協働によるがんサバイバーシップケア “がんリハビリテーション”	上原立資 (静岡県立静岡がんセンター 理学療法士)
	10:40-12:10	“がん相談支援”	坂本はと恵 (国立がん研究センター東病院 サポーターシップケアセンター MSW)
	13:00-14:30	“がんサバイバーの食事・栄養管理”	岡崎ちか (四国がんセンター 栄養管理室 管理栄養士)
	14:40-16:10	・治療終了後も長期的に残存する障害をもつがんサバイバーの家族ケア	高見紀子 (北里大学病院トータルサポートセンター 家族支援専門看護師)

12月14日(土)	13:00-17:50	<u>4.がんサバイバー看護展開論</u> ・受講生が困難を感じた事例について、既習の知識や理論を活用した看護実践や体制づくりについて考える ・グループワーク	藤田佐和(看護学部教授) 田代真理(看護学部准教授) 豊田邦江(看護学部特任講師) 山西亜紀子(看護学部特任助教)
12月15日(日)	9:00-14:30	・事例の看護展開 ・全体の共有 ・まとめ	
	14:40-15:10	修了式、アンケート	藤田佐和 (高知県立大学看護学部教授)

9. 修了要件

- ・コースで定める 60 時間のうち各科目 8 割以上履修すること。
修了要件を満たした者には、高知県立大学からの「コースを修了したことの証書」を交付します。

10. 受講申請に関すること

1) 受講条件

- ・全コース(4科目 60時間)受講できる方

2) 募集スケジュール

- ・2024年6月10日(月)～ 募集開始 受講申請書(所定様式)の提出
- ・2024年7月26日(金) 募集締め切り
- ・2024年9月7日(土) 開講日

3) 申請手続

(1) 提出書類

- ・受講申請書(項目は募集要項の最後のページをご参照ください)

(2) 提出方法

- ・二次元バーコード、または下記の URL からお申込みください。
<https://forms.office.com/r/GMeQJiYHg2>



11. 個人情報の取り扱い

- ・提出された申請書等に記載された個人情報は、責任を持って管理します。受講修了後は、この個人情報を利用することはない、第三者に開示することはありません。

12. 参加にあたっての連絡・注意事項

【Zoom 開催について】

- ・Zoom を利用してのオンライン講義となります。Web 上での配信は当日のみです。
(本コース各講義の URL、ミーティング ID やパスコードを無断転載・共有はご遠慮下さい。)
- ・初めてご利用の方は、Zoom アプリのインストールをお願いいたします。

- ・ご講義受講前に、Zoom アプリが最新版に更新されているかご確認ください。
- ・パソコン・タブレット・スマートフォンいずれからも受講いただけますが、映像・画像・音声の大量データ通信となり通信が途絶える場合があるため安定したインターネット環境下での受講をおすすめいたします。
- ・Zoom での講義は、通信時間 1 時間でデータ通信消費量は約 600～700MB と見込まれます。Zoom の利用料金は無料ですが、参加に要する機器・通信料等は、参加者各自のご負担となります。
- ・本コースの各講義における、機器や通信の不具合、受講できない場合等につきましては、一切責任を負いかねます。
- ・本コース開始前に、Zoom 接続確認の日程をご連絡いたします。ご希望の方はご利用下さい。

【Zoom のご利用について】

- ・Zoom に関しては、下記の URL をご参照ください。

Zoom ホームページ <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

Zoom ヘルプセンター <https://support.zoom.us/hc/ja>

【本コースの注意事項について】

- ・本コースでは、肖像権、知的財産権、個人情報保護等を遵守する観点から、録画・録音・画像保存等をご遠慮ください。

【お問い合わせ先】

高知県立大学大学院看護学研究科 藤田 佐和
〒781-8515 高知県高知市池 2751-1
FAX: 088-847-8704
E-mail: ganapn23@cc.u-kochi.ac.jp

受講申請書

ふりがな 氏名		看護師経験年数	年
資格	☐ 専門看護師（専門分野：） ☐ 認定看護師（専門分野：） ☐ その他（）		
所属施設	施設名： 住所：〒 TEL：		
修了証書郵送先	*修了要件を満たした者に、高知県立大学からの「コースを修了したこと証書」を交付しますので、ご希望の郵送先を選択してください。自宅の場合は住所を記入してください。 ☐ 所属施設(住所:同上) ☐ 自宅:〒		
緊急連絡用の電話番号			
メールアドレス	*資料など容量の大きなものでも対応できるPCメールをご記入願います(gmail など)		
受講動機 (300～500字)			

7